

日本分析化学会九州支部 2015年度 第1回常任幹事会

日時：平成27年6月20日(土) 10時30分～12時15分

場所：九州大学伊都キャンパスセンター2号館1階2107号室

出席者(敬称略・順不同)：肥後 盛秀(支部長)、森山 罌(次期支部長代理)、
財津 慎一(副支部長)、木下 将和(副支部長)、満塩 勝(庶務幹事)、
中島 常憲(会計幹事)、松井 利郎(監査)、佐藤 正雄(監査)、原田 明(理事)、
喜納 兼勇(常任幹事代理)、井倉 則之(常任幹事)、甲斐 雅亮(常任幹事)、
川上 健次(常任幹事)、河済 博文(常任幹事)、黒木 広明(常任幹事)、
西田 正志(常任幹事)、松田 直樹(常任幹事)、松森 信明(常任幹事)、
森 健(常任幹事)、宗 伸明(Anal. Sci. 編集委員)、山田 淳(第64年会実行委員長)

議題(担当者)

会議に先立ち、各人が自己紹介を行った。

1 報告事項

1) 本部・支部連絡会議(肥後支部長)

5月23日(土)の山梨大学での第75回分析化学討論会の昼食時間に開催された。

鈴木会長より以下の報告や依頼がなされた。

- ・平成27年2月現在の会員数約6200名、前年より約300名の減
- ・第76回分析化学討論会は5月28日(土)～29日(日)に岐阜大学と岐阜薬科大学で開催
- ・第65年会は9月14日(水)～16日(金)に北海道大学工学部で開催
- ・本部から支部への依頼事項として、講演謝礼等の源泉手続きと領収書の保管、
年会・討論会の帳票の本部保管、慶弔事の連絡、提出書類の締切日の厳守、
各賞の推薦などについての確認がなされた。

九州支部の第64年会、中部支部の第76回分析化学討論会、北海道支部の第65年会、
関東支部の創立60周年記念会の案内が各支部長よりなされた。

2) 理事会(原田理事)

4月21日(火)開催の第2回理事会を中心に、九州支部に関連する議事要旨の抜粋を
用いて説明がなされた。

- ・日本化学連合の年会費が40万円であり、経費削減のために退会を予定していたが、
無料になったため退会は中止となった。
- ・本学会の経費削減について、現在は人件費が高く、良い経済状態ではない。
ビデオ会議の推進や、本部支部会議を年会や討論会に合わせるなどの改善策も
検討された。また、五反田の事務所の売却も検討されている。
- ・山口敏男先生(福岡大理)と片山佳樹先生(九州大院工)が役員等候補者推薦委員会の
委員として九州支部から選出された。

3) 九州分析化学若手の会(満塩庶務幹事)

春の講演会

5月16日(土)に九州大学筑紫キャンパスにおいて開催された第28回九州分析化学
若手の会春の講演会について、世話人の藪下先生(九州大院総合理工)より提出された
事業完了報告書の説明がなされた。

- ・参加総数は72名であり、盛会にて終了した。

- ・参加した財津副支部長より、講演の内容が多岐にわたり、幅広い内容であり、質疑応答も活発であり、学生がよく質問していたとの報告がなされた。
- ・中島会計幹事より夏季セミナーと合わせて50万円の支援が支部よりなされたこと、収入と支出の差額はそのまま夏季セミナーの資金として使用される予定であること、これを含めた会計報告書について説明がなされ、了承された。

夏季セミナー

7月24日(金)～25日(土)に熊本県上天草市の亀屋ホテル華椿にて開催予定の第33回九州分析化学若手の会夏季セミナーについて、世話人の大平先生(熊本大院自然科学)より提出された資料について、開催内容が満塩庶務幹事、予算案が中島会計幹事により説明され、了承された。また、黒字が出ると支部へ返却されることも説明された。

4) 分析化学講習会(肥後支部長)

8月5日(水)～7日(金)に九州大学伊都キャンパスにおいて、横山実行委員長(九州大院理)の下で開催予定の第56回分析化学講習会について説明がなされた。「X線分析の講義と実習」と「電子顕微鏡分析の講義と実習」が新たに組み込まれた。

5) 各誌編集委員会(宗編集委員・満塩庶務幹事)

Analytical Sciences

宗編集委員より、5月24日(日)に開催された本年度の第1回の新旧引継編集委員会の説明および事業報告がなされた。

- ・投稿数と掲載数や、国内外からの投稿に対する却下率、今後のReviewは依頼のみ
- ・これまでは掲載するに至らない一部のオリジナル論文について、ノートのカテゴリに変更してMajor Revisionで返却することがあったが、今後はRejectとするが、ノートとして再投稿すれば同じ審査員で審査される。
- ・審査員が回答に用いる言語について、基本的に英語にするが、著者が全員日本人の場合に限り、日本語で回答できると規定された。
- ・倫理規定について、2013年に改定された人体実験等に関するヘルシンキ宣言の反映や二重投稿に関する記載について質問がなされ、後日回答することになった。

ぶんせき

編集委員の高椋先生が欠席のため、提出された編集委員会の議事録を用いて説明がなされたが、特筆すべき項目はなかった。

分析化学

編集委員の原田雅章先生が欠席のため、提出された編集委員会の議事録を用いて説明がなされた。特筆すべき項目はなかったが、現在論文を公開しているJ-Stageを予算の削減のために、やめる学術団体が増えているという情報提供がなされた。

6) 第52回化学関連支部合同九州大会(満塩庶務幹事)

6月27日(土)～28日(日)に北九州国際会議場にて開催予定の標記大会について、韓国でMERSが流行し感染拡大が危惧されることから、28日の日韓交流シンポジウムは延期となったことが報告された。

当支部からは27日の招待講演として井原先生(熊本大自然)、座長を松井先生(九州大院農)にお願いしていることが報告された。また、九州分析化学ポスター賞の審査を10名の先生方に依頼していることが報告され、了承された。

登録情報に不備のある対象者については、発表の場で確認することで審査対象に加えることの決定がなされ、最終的に対象件数が 54 件となった。

受賞者氏名を分析ロータリー欄およびホームページに掲載する。

7) 機器分析ワークショップ (川上常任幹事)

7月7日(火)に長崎の三菱重工(株)研究所において、(株)ジェイ・サイエンス・ラボと(株)ジェイ・サイエンス西日本の協賛で「新技術・インハウスセミナー」が開催される。イベントの正式名称について、三菱重工からのリクエストとこれまでの呼称を合わせて、正式名称を「機器分析ワークショップ」とし、サブタイトルを「新技術・インハウスセミナー」とすることになった。

また、ジェイ・サイエンス様から第64年會に広告を出していただけること、秋に長崎か南九州でワークショップの開催予定であることが報告された。

8) その他 (肥後支部長)

Analytical Sciences における人体実験等の倫理規定や、二重投稿の規定についての記載に関する質問に対する分析化学会からの後日回答は以下の通りである。

- ・一定のガイドラインを記述しているが、ヘルシンキ宣言については対応した規定になっていない。問題点があれば議題としてあげて欲しい。
- ・二重投稿に関しては、剽窃検索ソフトによるチェックを行っている。

2 審議事項

1) 支部役員の変更 (満塩庶務幹事)

二人の幹事の留任と二社の担当者の変更が説明され、承認された。

また、幹事の松本先生のご退官により、参与への変更が指摘され、記載すべき情報を本人に確認の後、名簿へ反映させることになり、更新された。

2) 九州分析化学学会賞及び奨励賞 (宗選考委員長)

5月30日(土)に鹿児島大学において、8名の選考委員により奨励賞候補者3名と学会賞候補者1名の選考が行われた。奨励賞の選考は30分の発表と30分の質疑応答、学会賞は書類選考により行われた。

選考経過の説明の後、候補者全員の受賞が承認された。

奨励賞の応募規定について、応募時に本会会員であることの改正が提案されたが、応募者の門戸を広げるためにも現在のままで良いことになった。

奨励賞受賞者の一名の学年について、文部科学省の定める博士課程および博士後期課程の在学年数と矛盾するところがあり、本人に確認することになった。

3) 支部幹事会・講演会・見学会 (肥後支部長・木下副支部長)

11月19日(木)に京セラ(株)鹿児島国分工場とホテル京セラで幹事会と情報交換会を11月20日(金)に京セラ(株)鹿児島国分工場で開催する。

木下副支部長より、幹事会はセラミック会館の会議室、その後の情報交換会はホテル京セラで行う予定であることが説明された。11月20日は送迎バスを用いて京セラ国分工場へ移動し、講演会の後に工場の製造ラインと分析センターを見学する予定であることが説明された。

4) 日本分析化学会第 64 年会の開催（肥後支部長・山田実行委員長）

肥後支部長よりランチョンセミナー・展示と出展・広告掲載の申込みの現状とお礼が述べられた。各締め切りは以下の通りであり、申込みの依頼がなされた。

- ・ランチョンセミナー：6月25日(木)
- ・展示と出展・広告掲載：8月6日(木)

山田実行委員長より、当日登録を含め 800 件程度の発表件数を見込んで準備を進めていることの報告と、午後からのプログラム編成委員会の説明がなされた。

松井監査のご尽力でキンビール様から休憩室での飲み物をいただけることになった。

5) その他

共催・協賛事業（満塩庶務幹事）

8月21日(金)～22日(土)開催予定の第28回バイオメディカル分析科学シンポジウムの共催の依頼書が黒田先生（長崎大院医歯薬）より提出され、支部役員にて検討がなされ、承認したことの報告がなされた。

役員名簿（満塩庶務幹事）

6月20日現在の役員名簿が配布され、確認がなされた。

奨励賞受賞者の学年について（肥後支部長）

奨励賞受賞者について、学年と在学年数が矛盾する件について、本人に確認したところ、記載ミスであることが分かり、学年を4年生から3年生に修正した。

以上